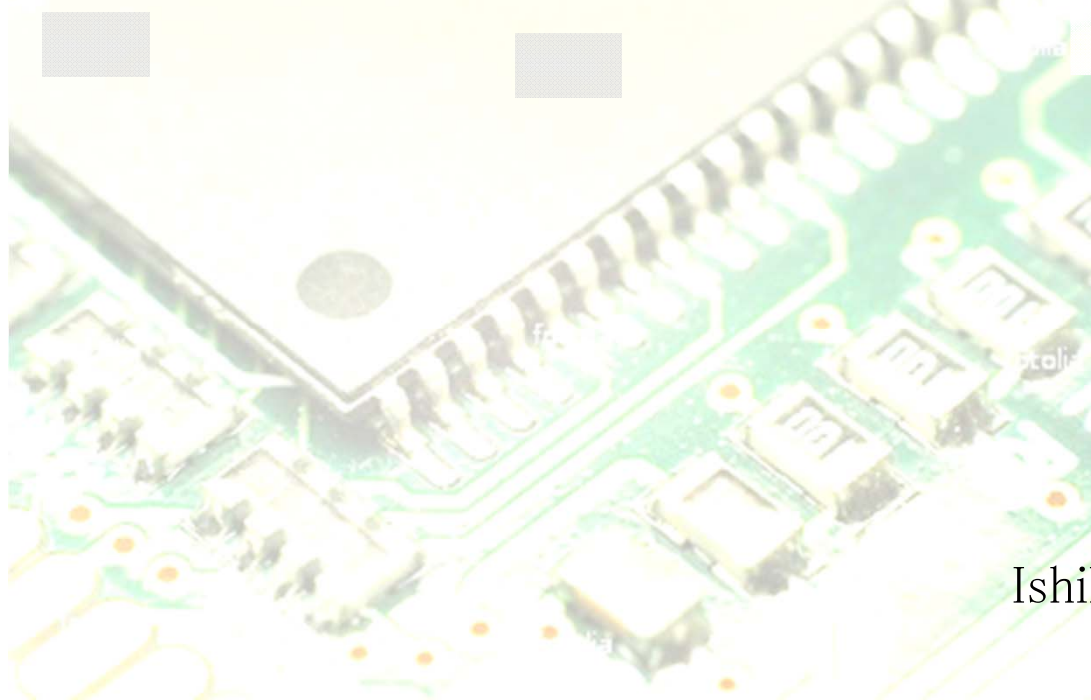
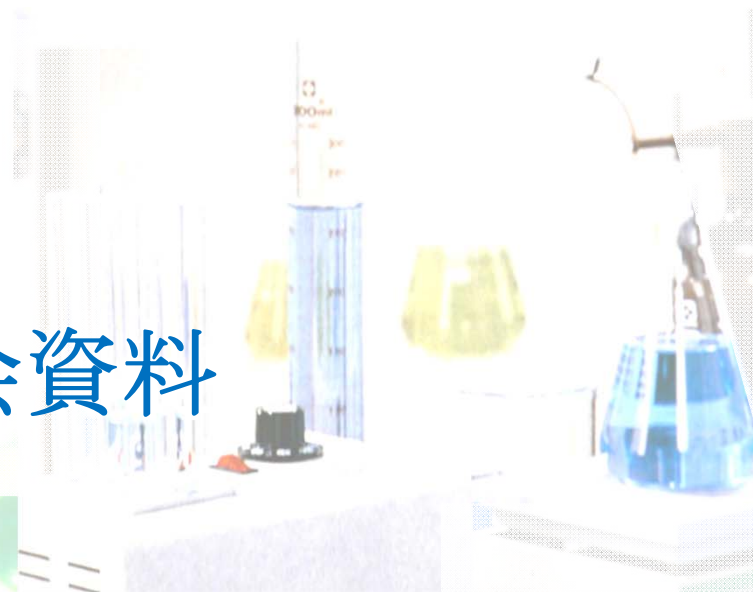




# 2015年3月期 決算説明会資料



2015年6月8日（大阪）

2015年6月9日（東京）

石原ケミカル株式会社

Ishihara Chemical Company, Ltd.

（東証二部 4462）

# 目次

(代表取締役社長 時澤 元一)

1. 2015年3月期 決算の概要
2. 2016年3月期 業績予想
3. 株主還元・内部留保の考え方
4. 経営の基本方針

## 参 考 資 料

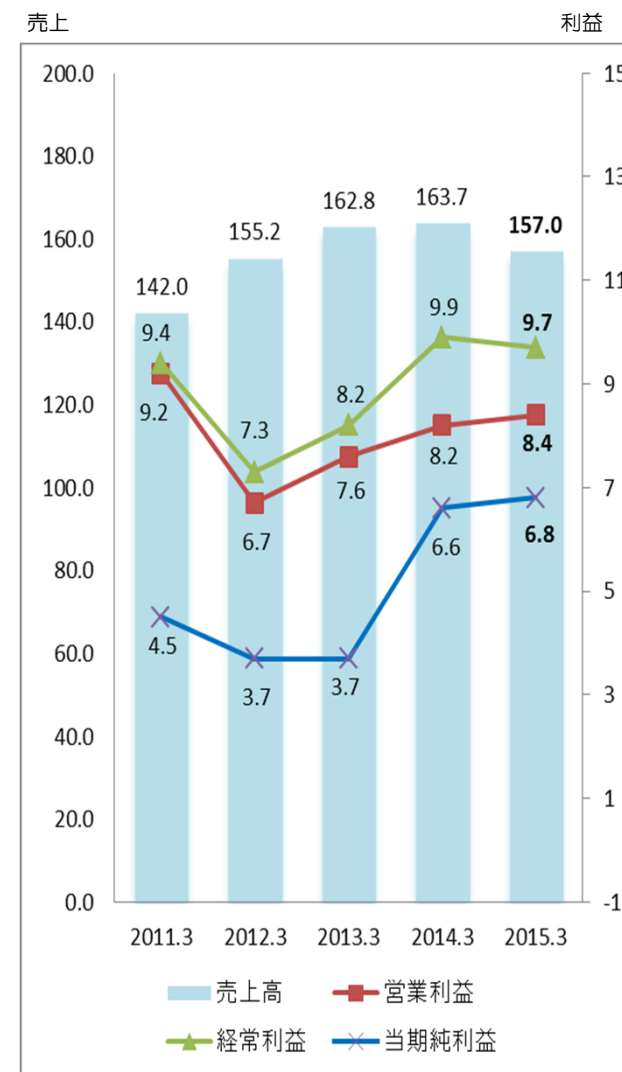
- 技術動向
- 展示会出展のご報告
- 2015年3月期 決算短信

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想値と大きく異なる可能性があります。

## 2015年3月期 決算の概要

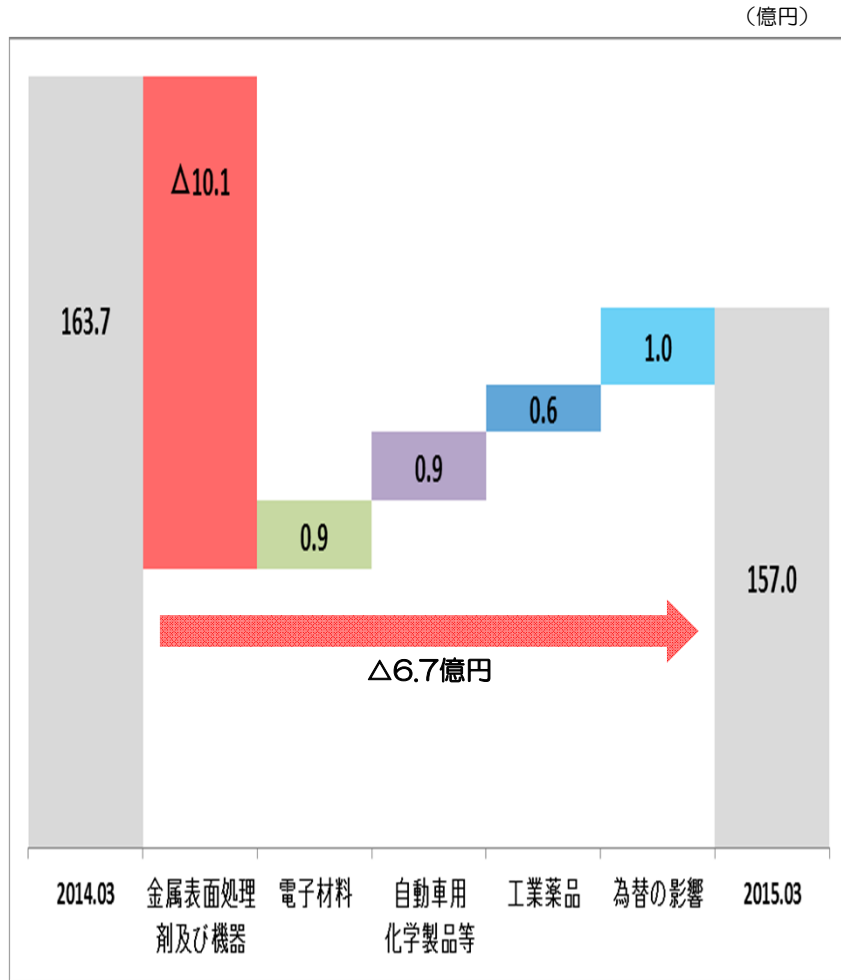
	2015年3月期		前年		対前年 増減率	増減額	2015年3月期		対公表値 増減率
	実績	構成比	実績	構成比			公表値*	構成比	
売上高	157.0	100%	163.7	100.0%	△4.1%	△6.7	167.0	100.0%	△6.0%
売上原価	115.9	73.8%	122.0	74.5%	△5.0%	△6.1			
販管費	32.6	20.8%	33.4	20.4%	△2.4%	△0.8			
営業利益	8.4	5.4%	8.2	5.1%	2.8%	0.2	11.1	6.6%	△24.3%
経常利益	9.7	6.2%	9.9	6.0%	△1.9%	△0.2	11.8	7.1%	△17.8%
当期純利益	6.8	4.3%	6.6	4.0%	2.4%	0.2	8.1	4.9%	△16.0%
							*2014年5月公表		

- **売上高**：電子材料・自動車用化学製品等・工業薬品セグメントは前年を上回ったものの、金属表面処理剤及び機器等セグメントの落ち込みが大きく、前年比△4.1%の減収
  - **営業利益**：利益率の改善及び販管費の節減を行い、前年比2.8%の増益
  - **経常利益**：前年度の営業外収益の発生額が大きく、前年比△1.9%の減益
  - **当期純利益**：前年比2.4%の増益
- 設備投資：675百万円      減価償却費：409百万円      研究開発費：940百万円

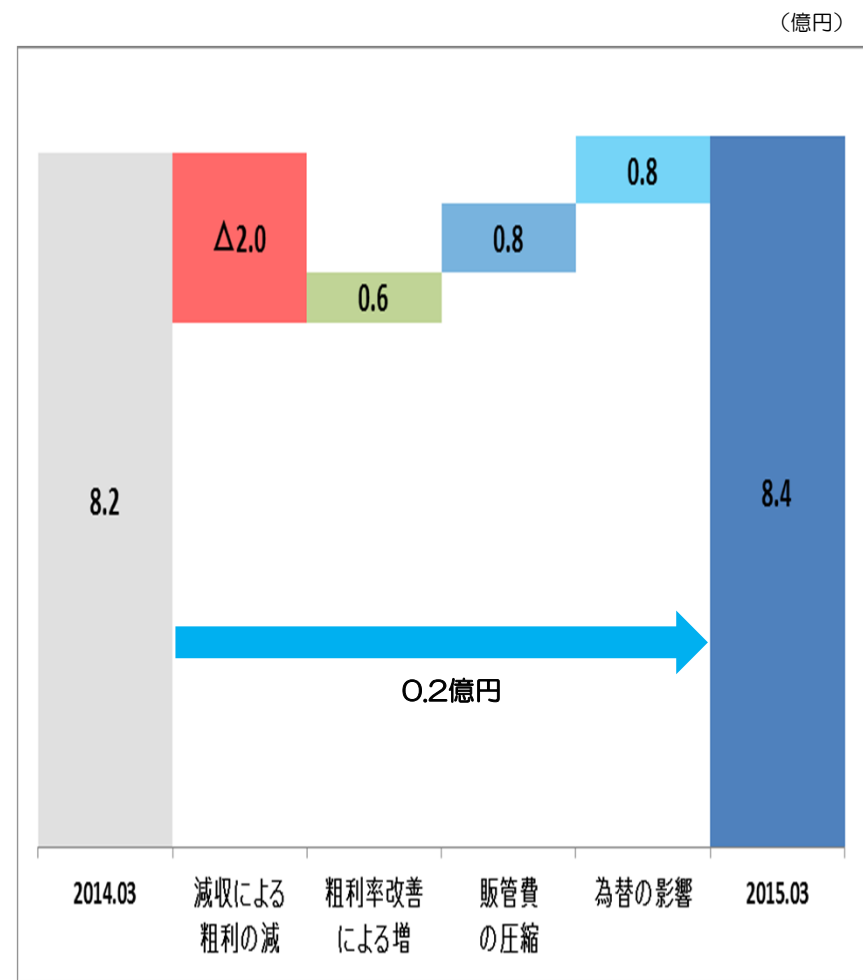


# 売上高・営業利益の増減要因

## 売上高



## 営業利益

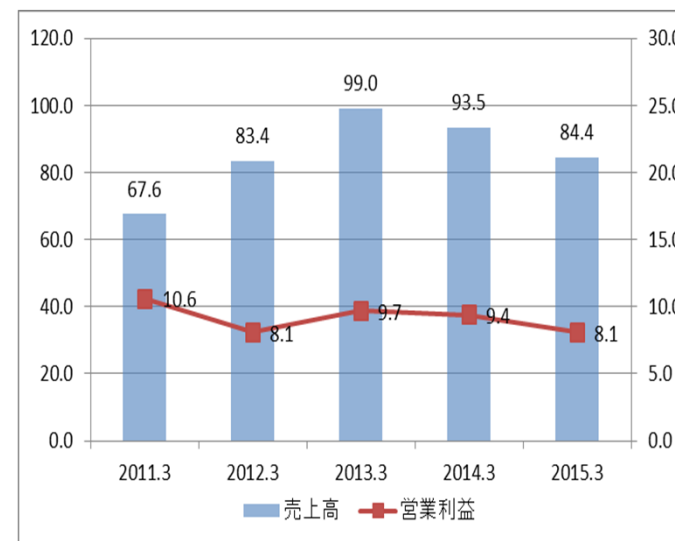


## セグメント別の営業の状況

金属表面処理剤及び機器等		(単位:億円)	
	2015年3月期 実績	前年 実績	前年比
売上高	84.4	93.5	90.3%
営業利益	8.1	9.4	86.2%

・電子部品用めっき液：一般電子部品用めっき液は国内、海外市場とも低調に推移、一方、先端電子部品用ウエハーバンプめっき液は台湾を中心に堅調に推移したが、韓国大口ユーザーの販売不振の影響により前年を大きく下回る。

・管理装置及び試薬：プリント基板、タッチパネル市場を中心に堅調に推移し、前年を上回る。

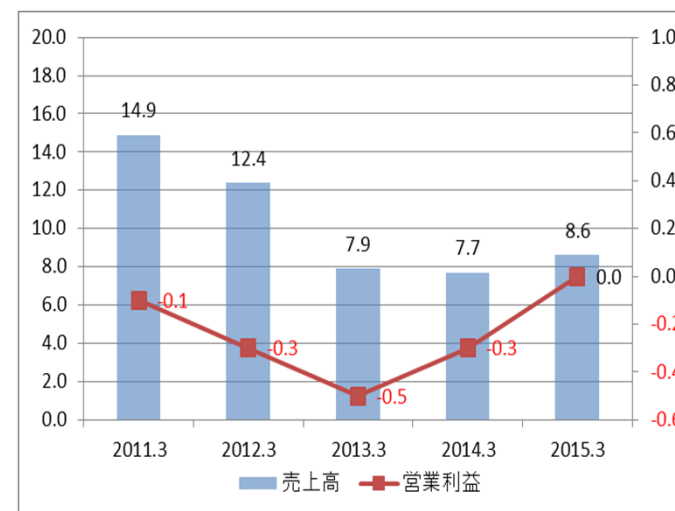


電子材料		(単位:億円)	
	2015年3月期 実績	前年 実績	前年比
売上高	8.6	7.7	111.7%
営業利益	△0.0	△0.3	-

・ニッケル超微粉：ユーザーの生産状況の回復により、前年を上回る。

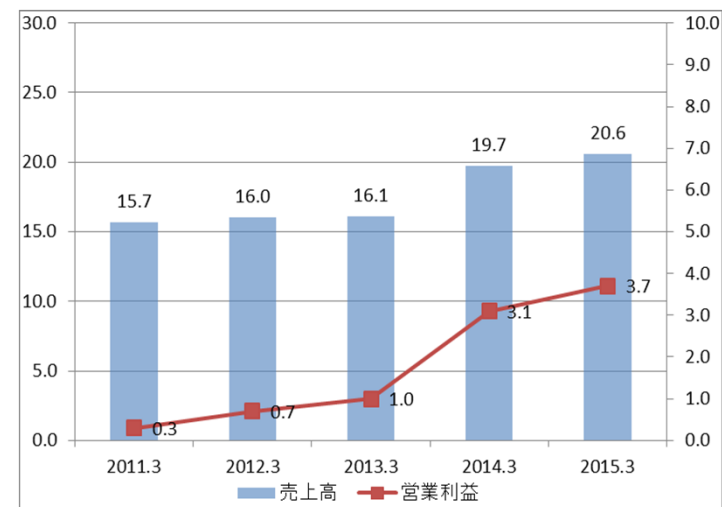
・機能材料加工品：半導体製造装置関連の大口ユーザーを中心に好調に推移

・セグメント利益は、新規電子材料の開発費を先行して負担していることもあり、営業赤字



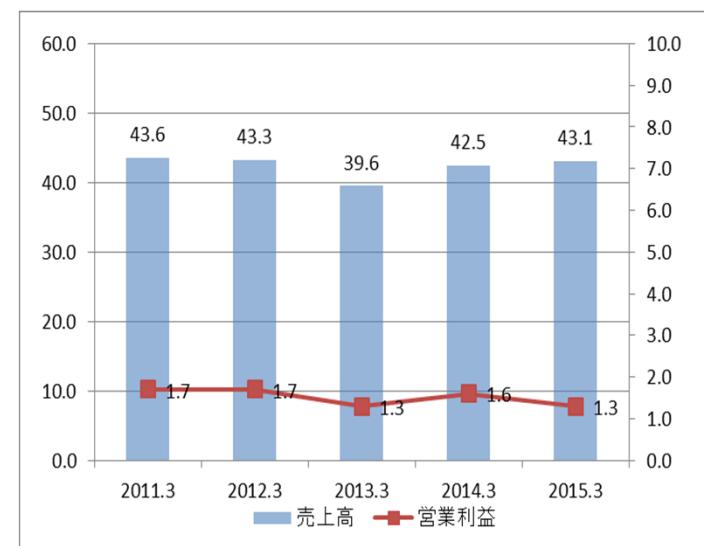
自動車用化学製品		(単位:億円)	
	2015年3月期 実績	前年 実績	前年比
売上高	20.6	19.7	104.6%
営業利益	3.7	3.1	119.4%

- ・引き続きエアコン洗浄剤が好調に推移
- ・新製品「FMCマイスターコンパウンドシステム」を投入し、補修用コンパウンドも好調



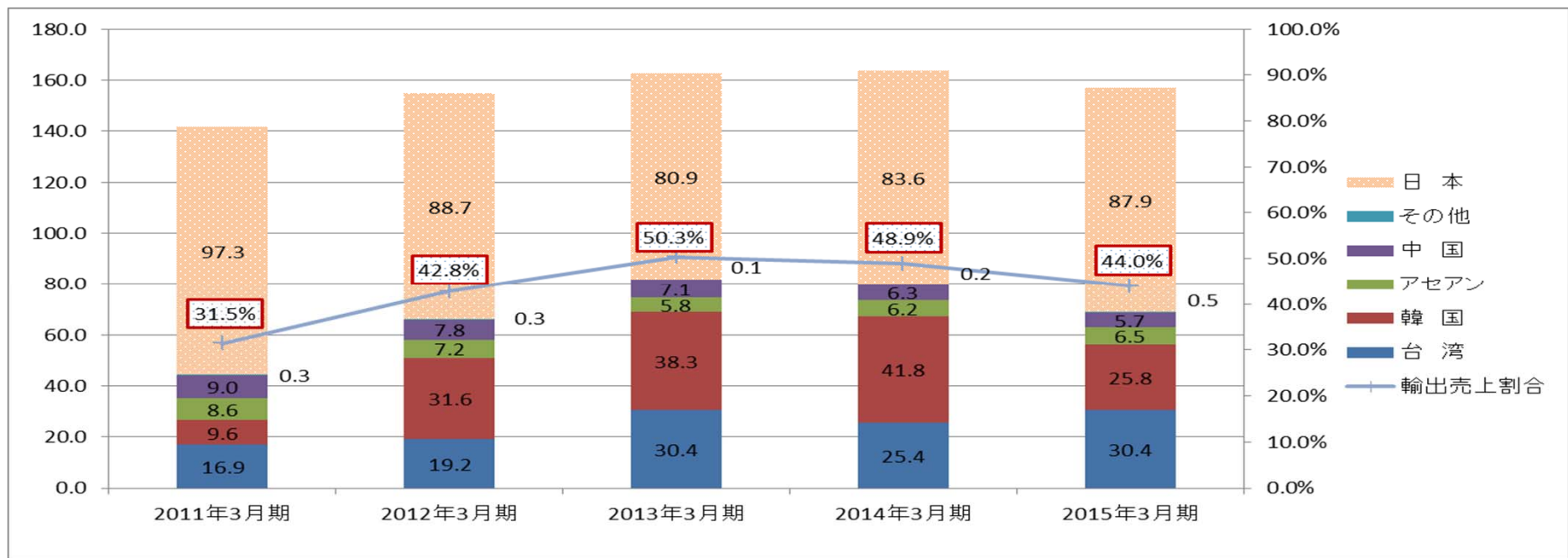
工業薬品		(単位:億円)	
	2015年3月期 実績	前年 実績	前年比
売上高	43.1	42.5	101.4%
営業利益	1.3	1.6	81.3%

- ・高級鋼板向け特殊薬剤は、メーカー使用量削減により需要が伸びず。
- ・期後半にかけ苛性ソーダのシェアアップ、円安による化学メーカー向け触媒等の需要がのびる。



# 地域別販売の状況

## 輸出売上高推移



地域別売上高	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
台湾	16.9	19.2	30.4	25.4	<b>30.4</b>
韓国	9.6	31.6	38.3	41.8	<b>25.8</b>
ASEAN	8.6	7.2	5.8	6.2	<b>6.5</b>
中国	9.0	7.8	7.1	6.3	<b>5.7</b>
その他	0.3	0.3	0.1	0.2	<b>0.5</b>
<b>輸出売上計</b>	<b>44.6</b>	<b>66.4</b>	<b>81.9</b>	<b>80.0</b>	<b>69.0</b>
日本	97.3	88.7	80.9	83.6	<b>87.9</b>
<b>売上総計</b>	<b>142.0</b>	<b>155.2</b>	<b>162.8</b>	<b>163.7</b>	<b>157.0</b>

ASEAN...シンガポール タイ  
フィリピン 他

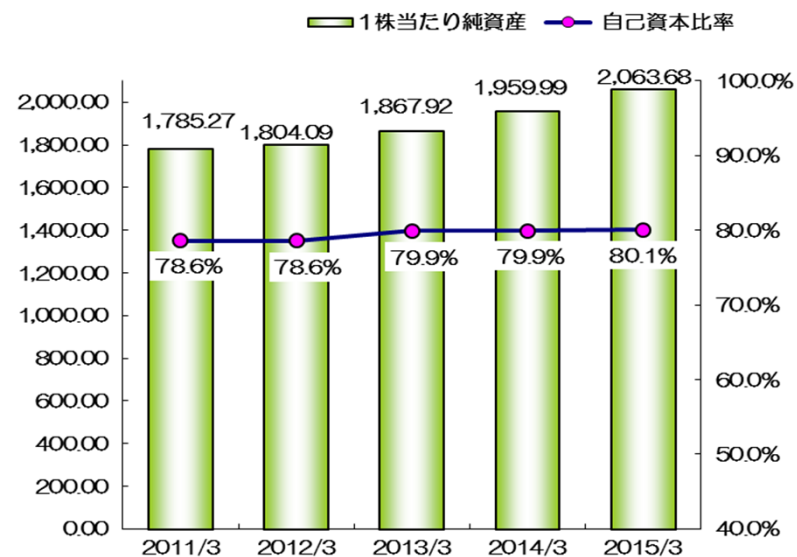
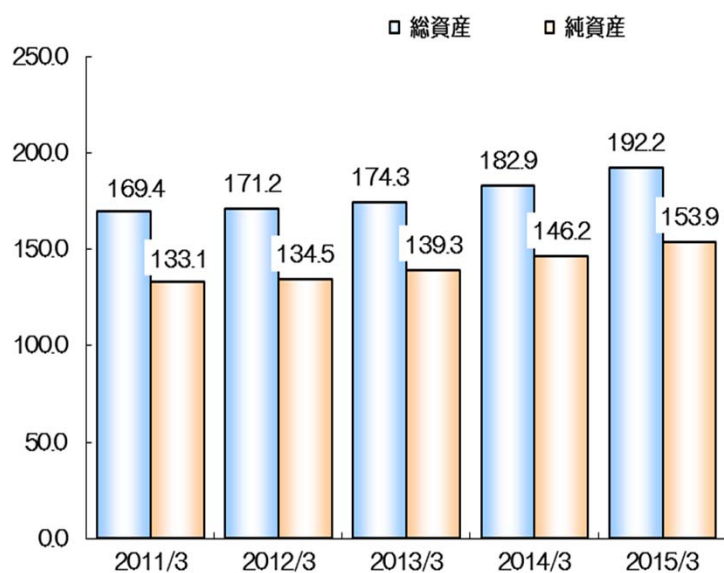
	2014年3月	2015年3月
1USD(計画)	82.00	100.00
1USD(実績)	100.40	110.91

## 総資産・純資産・1株当たり純資産・自己資本比率の推移

主要経営指標推移		2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
総資産	【Total Assets】 (百万円)	16,947	17,122	17,430	18,292	19,222
純資産	【Shareholders Equity】 (百万円)	13,318	13,458	13,934	14,621	15,395
1株当たり純資産	【BPS】 (円)	1,785.27	1,804.09	1,867.92	1,959.99	2,063.68
自己資本比率	【Equity Ratio】 (%)	78.6%	78.6%	79.9%	79.9%	80.1%
自己資本利益率	【Return on Equity】 (%)	3.5%	2.8%	2.7%	4.7%	4.6%
一株当たり配当額	(円)	35.00	30.00	30.00	30.00	30.00
内 中 間 配 当	(円)	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00

(億円)

(円)





# 2016年3月期の業績予想

(2015年4月1日～2016年3月31日)

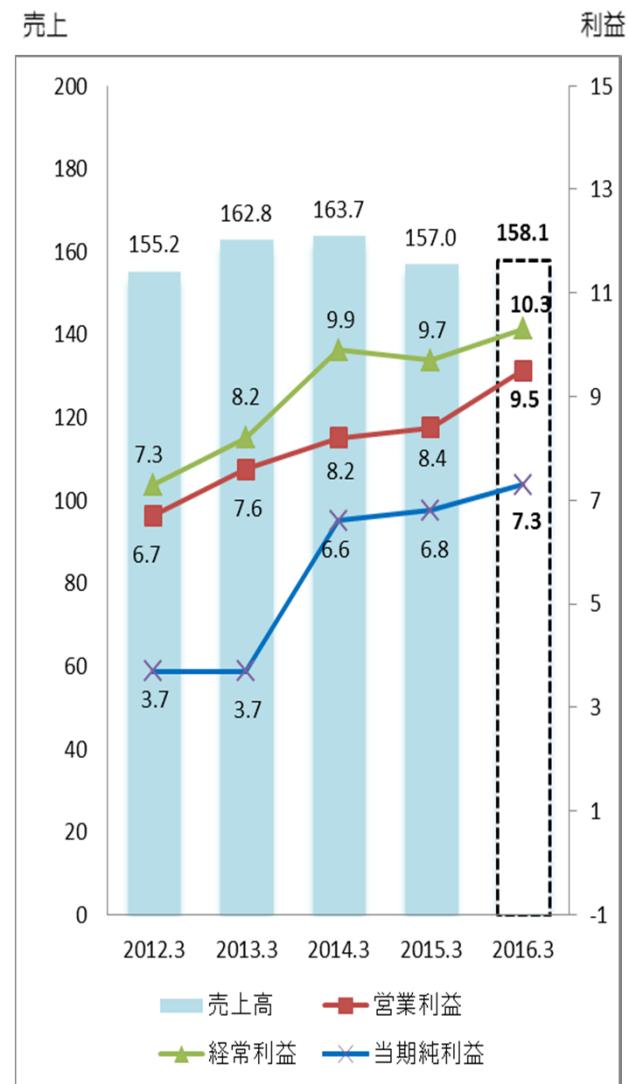
	計画(2016年3月期)			前年			年間増減率	年間増減額
	上期	下期	年間	上期	下期	年間		
売上高	78.3	79.8	158.1	76.3	80.6	157.0	0.7%	1.1
営業利益	4.4	5.1	9.5	3.9	4.5	8.4	13.1%	1.1
経常利益	4.9	5.4	10.3	4.6	5.0	9.7	6.2%	0.6
当期純利益	3.4	3.9	7.3	3.2	3.5	6.8	7.4%	0.5
1株当たり当期純利益	45.58円		97.85円	43.88円		91.84円		
1株当たり配当額	16.00円		32.00円	15.00円		30.00円		

・コストダウン、高利益率製品の販売により収益力を高める。また、金属ナノ粒子等新規電子材料の事業化を加速する。

・設備投資計画: 623百万円 減価償却費計画: 464百万円

研究開発費計画: 1,060百万円

・計画為替レート: 1USD=115円



## セグメントごとの取り組み

- **金属表面処理剤及び機器**
  - ・海外市場を積極的に開拓
  - ・高付加価値薬品を積極的に市場展開
  - ・ユーザーへの迅速な対応および技術サポートの向上により差別化
- **電子材料**
  - ・好調な半導体・液晶製造装置業界を中心に対応
  - ・新規電子材料の市場導入
- **自動車用化学製品等**
  - ・カーディーラーの獲得および拡販によりエアコン洗浄剤を伸ばす。
  - ・コンパウンドを中心に補修用製品も拡販
- **工業薬品**
  - ・鉄鋼分社で基礎薬剤のシェア拡大および新規テーマの発掘
  - ・環境や石油化学分野での新規商材開発と新規市場開発を促進

# 株主還元・内部留保の考え方

## 2015年3月期の配当予定

安定配当を基本としつつも、業績、経営環境、財務状況を勘案し、中間配当15円、期末配当15円の年間配当金30円を予定

## 株主還元の基本方針

業績に裏付けられた安定的で継続的な配当を行うことを基本としつつ、業績に応じた増配を検討するなど弾力的な還元策をはかっていく方針であります。配当に加えて自己株式取得も機動的に組み合わせて行うことにより、実質的な株主還元の一層の強化をはかります。

## 内 部 留 保

健全な経営基盤を維持するため内部留保の充実をはかるとともに、内部留保資金の活用については、研究開発や新事業、新技術開発など将来の企業価値を高めるための投資に優先して充当してまいります。

# 経営の基本方針

- (1)当社は自己開発・商品開発・市場開発の「三つの開発」を企業理念とし、ニッチ市場といわれる事業分野で高い市場占有率を維持し、基幹となる3つの分野で事業をバランスよく展開し、各々の収益力を高め、総体として会社の業績の伸長をはかる。
- (2)このような事業活動を通じて常に新しいニーズの創造・発掘に取り組み、会社の発展を通じて、株主・取引先・従業員など関係各位の信頼と期待に応え、社会に貢献していく。

企業価値及び株主共同の利益の確保・向上に努める。

全てのステークホルダーの満足度向上

## 参 考 資 料

- 技術動向
- 展示会出展のご報告
- 平成27年3月期 決算短信

- この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。
- 当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。
- なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願い致します。

ありがとうございました

2015年6月

石原ケミカル株式会社

(東証二部 4462)

URL: <http://www.unicon.co.jp>

# 《技術動向》 (代表取締役社長 時澤 元一)

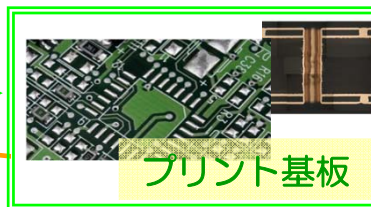
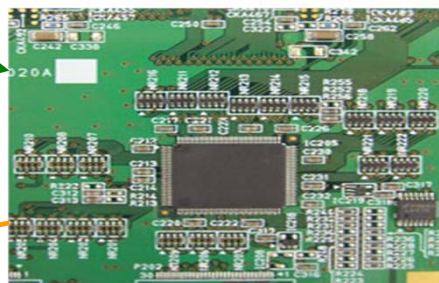
金属表面処理剤 (めっき液) の用途：

電子部品や半導体を電気回路に接続 (搭載) する目的に使用

電子製品



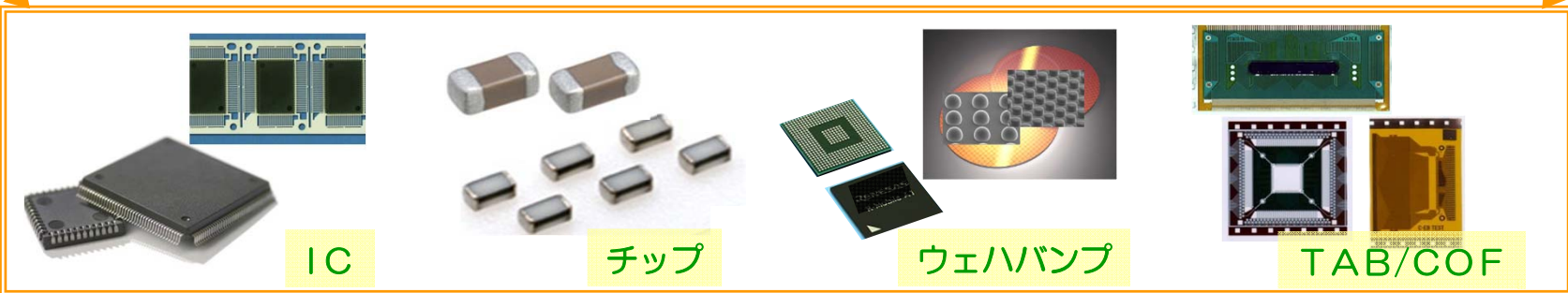
基板



銅めっき液

プリント基板

電子部品



めっき液

鉛フリーめっき液

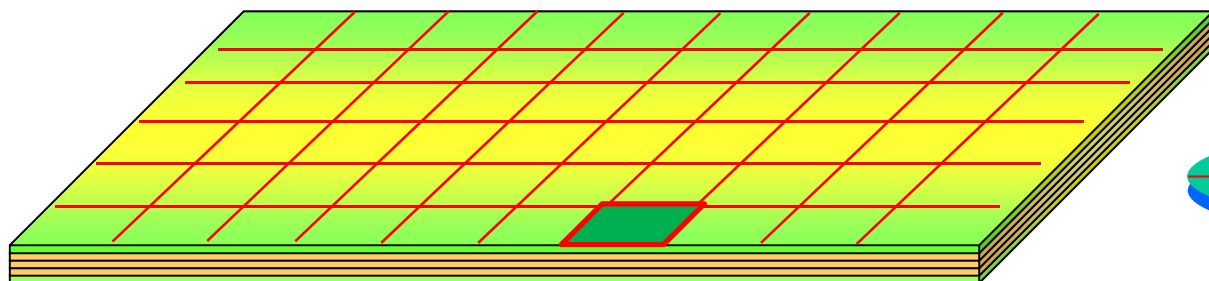
中性スズめっき液

バンパ用めっき液

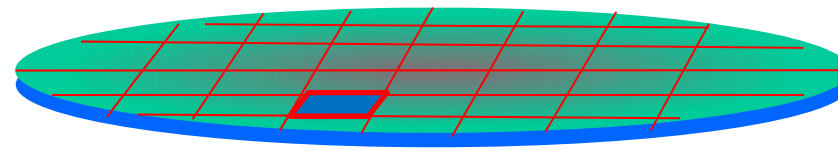
無電解スズめっき液



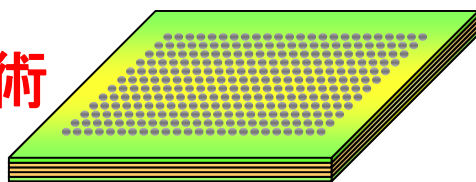
プリント基板



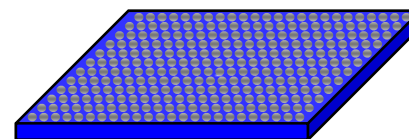
ウェハー基板



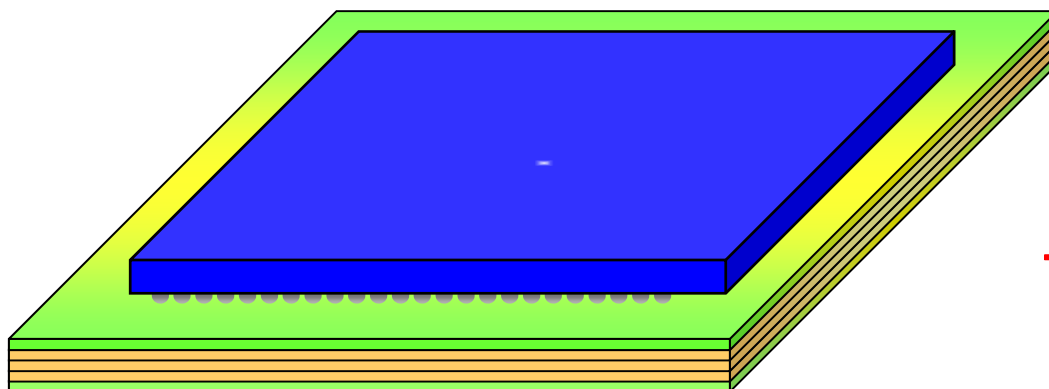
CDPI技術



銅ピラー技術



半導体パッケージ





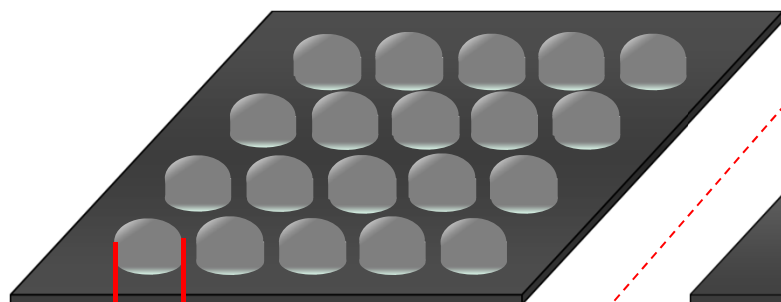
従来技術

はんだボール

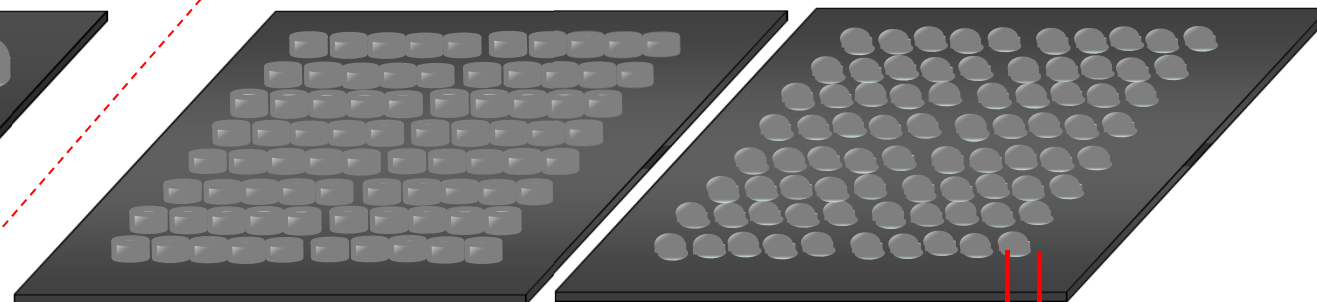
CDPI技術 めっきプロセス

リフロー前

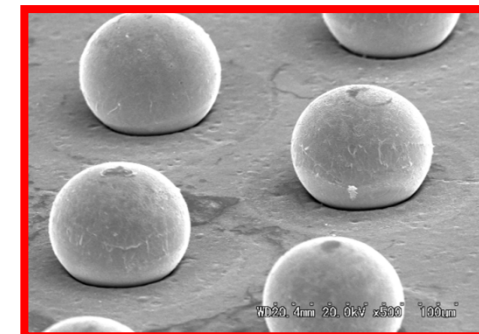
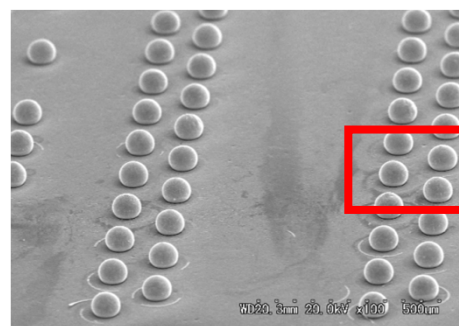
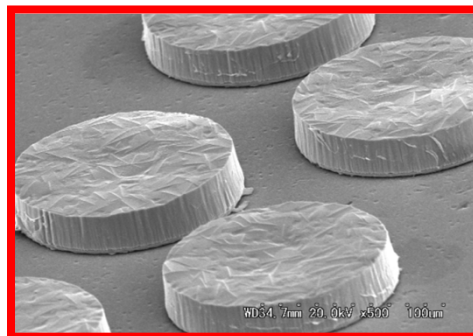
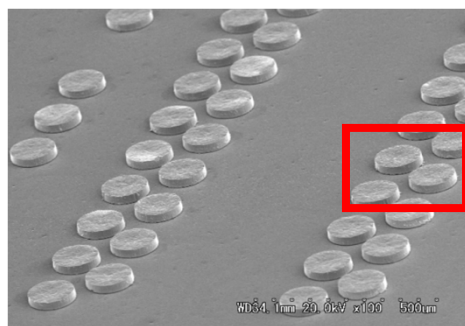
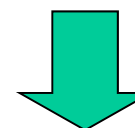
リフロー後



100µm

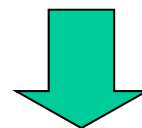
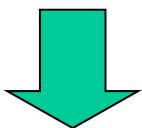
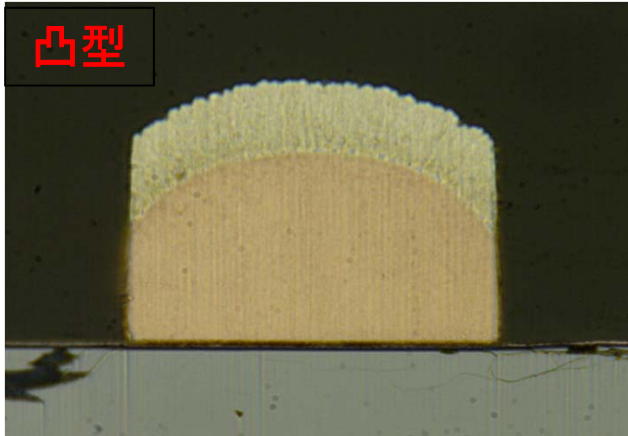
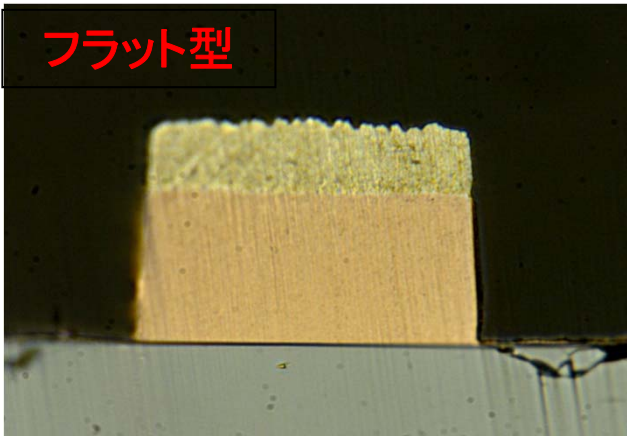
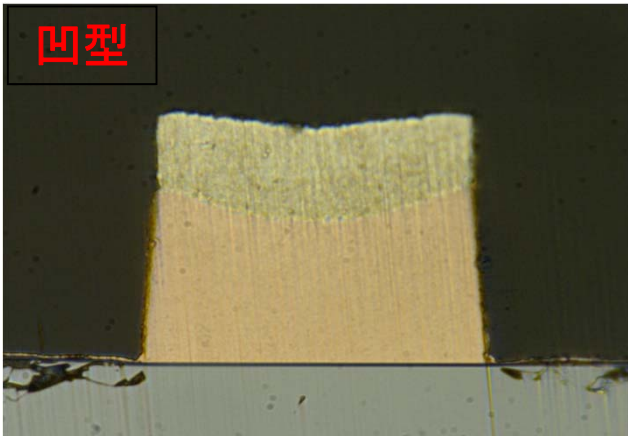


25~50µm

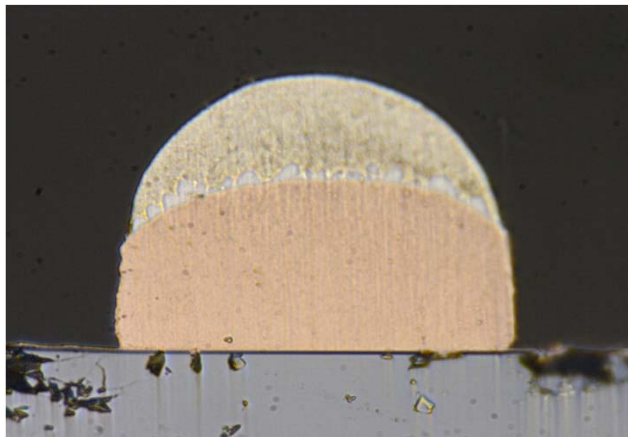
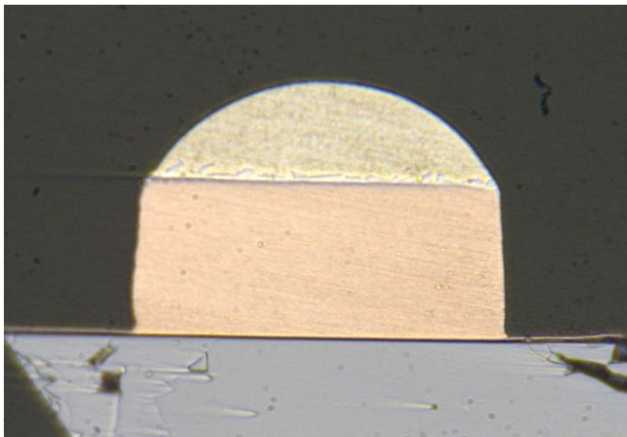
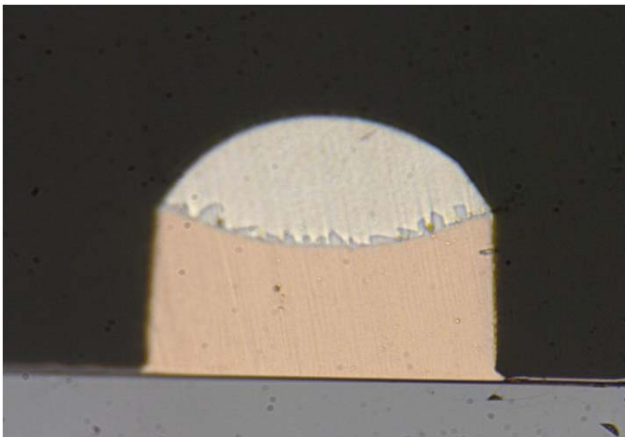


25~50µmの突起電極をリフロー処理によりボール状に形成

銅ピラー めっきプロセス リフロー前



銅ピラー めっきプロセス リフロー後



# 《新技術・新製品開発の状況》

次世代電子回路基板への適用が期待される

## 導電性銅ナノインクを開発

銅ナノインクに注目して研究開発した理由は・・・

- ◎ 銅は導電性がよく配線材料に適している
- ◎ 銅はマイグレーションしにくい  
(電界の影響で金属成分が非金属媒体の上や中を横切って移動する現象)
- ◎ 銅は資源的に豊富である など

さらに

インクジェットやグラビアオフセットなどの印刷法による回路形成を実用化すると

プロセスの簡略化による  
コストダウン

少量多品種への対応

環境にやさしい  
(廃液・廃棄物が少ない)

石原ケミカルでは銅ナノ粉からインク化まで  
自社で一貫して開発を進めています

銅原料



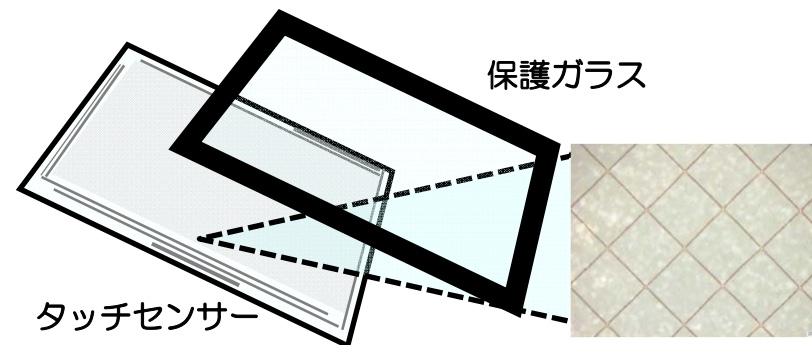
銅ナノ粉



銅ナノインク



ポリイミド基板上に導電性銅ナノインクを用いて形成した回路



PET基板上に導電性銅ナノインクを用いて形成した銅メッシュパターン (検討中)

様々なアプリケーションにおいて  
配線や電極として利用が期待されています

### 想定されるアプリケーション



タッチパネル



LED



太陽電池



FPC



RFID

# 展示会出展のご報告

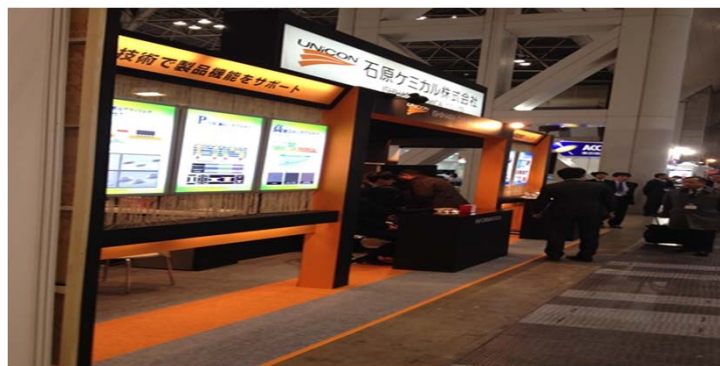
## 海外

SEMICON China2015



上海の会場にブースを開設 2015/3

第16回 半導体パッケージング技術展



東京ビッグサイト 2015/1

## 国内

JPCA SHOW2014



東京ビッグサイト 2014/6

SURTECH2015 表面技術要素展



東京ビッグサイト 2015/1